

横浜市立金沢動物園に ニホンライチョウが来園します

令和6年2月22日(木)に、金沢動物園へ2羽のニホンライチョウ(オス1羽、メス1羽)が来園します。今回のニホンライチョウの来園は、(公社)日本動物園水族館協会が環境省と共同で行う第2期ライチョウ生息域外保全実施計画に基づき、本計画の体制強化と危険分散、普及啓発を目的としたものです。

来園後、一定の検疫期間の後に展示に向けた練習を開始します。展示開始時期につきましては、ホームページ、SNSなどでお知らせします。

来園日	令和6年2月22日(木)	
性別	オス	メス
生年月日	令和4年7月6日(1歳) いしかわ動物園で孵化	令和3年7月13日(2歳) 富山市ファミリーパークで孵化
来園元	いしかわ動物園	富山市ファミリーパーク
個体写真	 写真提供：いしかわ動物園	 写真提供：富山市ファミリーパーク

当日の取材について

動物の来園当日の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。

※ニホンライチョウの展示に伴い、スバルライチョウの展示は2月18日(日)で終了します。

金沢動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

横浜市SDGs認証制度



お問合せ先

金沢動物園 園長 小國 徹 TEL045-783-9400

【参考資料】

1 ニホンライチョウについて

和名	ニホンライチョウ
英名	Japanese Rock Ptarmigan
学名	<i>Lagopus muta japonica</i>
分類	キジ目 キジ科
分布	高山帯に隔離分布しており、現在の分布域は頸城山塊、北アルプス、乗鞍岳、御嶽山、南アルプス
生態	本州中部の高山帯に生息するライチョウの亜種です。ライチョウの亜種の中では最も南に分布しており、氷河期に日本まで分布を広げたライチョウの祖先が、その後の温暖化とともに気温の低い高山に生息の場を移して、現在まで生き残ってきたものと考えられている。 日本の高山の環境によく適応し、高山植物の芽や葉、種子などを食べ、ハイマツの下に巣を作って繁殖する。
環境省レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) 絶滅危惧 I A 類 (CR) ほどではないが、近い将来における野生での絶滅が極めて高い種
国内飼育園館	7 園館 富山市ファミリーパーク、恩賜上野動物園、大町山岳博物館、那須どうぶつ王国、いしかわ動物園、長野市茶臼山動物園、横浜市繁殖センター（動物は非展示）

2 第2期ライチョウ生息域外保全実施計画について

環境省と（公社）日本動物園水族館協会が協力してライチョウ生息域外保全実施計画を実施してきました。令和3年には第2期ライチョウ生息域外保全実施計画が策定され、令和4年に国内の動物園生まれの個体を生息地へ放鳥することに成功、令和5年には動物園からの野生復帰個体での繁殖が確認されました。現在国内の7園館において、飼育・繁殖の知見の集積や野生復帰事業への協力が行われています。

金沢動物園では、平成27年からニホンライチョウに近縁のスパールバルライチョウの飼育を開始しました。

3 金沢動物園について

- ◆入園料：一般500円、高校生・中人300円、小・中学生200円、小学生未満無料
(毎週土曜日高校生以下無料)
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は16:00まで)
- ◆休園日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、3/25・4/1は開園
- ◆交通：京急線「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場でバスに乗車
①「野村住宅センター」行きバス「夏山坂上」下車徒歩6分
②急行「金沢動物園」行きバスで10分(土・日・祝のみ)
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>
- ◆住所：横浜市金沢区釜利谷東5-15-1
- ◆問合せ先：045-783-9100